

密着取材!

循環器科医師の1日

～当院のスタッフの「とある1日」をご紹介します～



セキグチ マコト
関口 誠

循環器科医師
(第二循環器科部長)

当院の循環器診療について…

常勤医師7名、内科専攻医1名、非常勤医師1名体制で、入院加療のほか、循環器外来・フットケア外来・ペースメーカー外来による診療を行っています。また救命救急センターと連携し、緊急性の高い治療に対しては24時間の対応をしています。

循環器外来にて診察

9:00～



外来では、慢性疾患の継続治療や術後の経過、療養の指導、増悪などの患者さんの治療にあたります。

▼患者さんからの声

長く関口先生にかかっていて、手術をたいそううまくやってくれました。気さくに話してくれるし、もう先生にお任せなら大丈夫という安心感があるよ (患者Aさん・60代男性)



昼食休憩

14:20～



病棟の休憩室でお弁当をいただきます。食後のコーヒーを飲んでからカテーテル室へ向かうのが日課です。

心臓超音波検査 (心エコー) 読影

15:00～



検査を行った臨床検査技師とともにカルテと画像を確認し、その後の診断・治療に活かしていきます。

不整脈の自主勉強会に参加

17:00～



新しく実施する不整脈治療の事前勉強会に参加します。外部講師を招き、医師、看護師、臨床工学技士、放射線技師など多職種約40名ほどが聴講。

救急患者対応

20:30～



胸部痛を訴える患者さんが救急車で搬送されたため、この日の救急を担当する医師から引き継ぎ、緊急のカテーテル検査、治療を行います。

8:30～

内科系カンファレンスに参加



毎朝行われる内科系の診療科合同のカンファレンスに参加し、主に救急搬送された患者さんについての情報を共有します。

11:50～

心臓カテーテル手術*を実施

直径約2～3mmほどのチューブ(カテーテル)を鼠径部の血管から挿入し、心臓の血管を治療します。「今痛かったですよ、血管を切りましたからね。」と患者さんと会話しながら、繊細な手技を約2時間ほど実施しました。



▼この日は年に6件ほどしか実施しない珍しい手術のため、若手医師に器具の使い方等を指導します。



*DCA(方向性冠動脈粥腫切除術)を実施。

18:00～

ハートチームカンファレンスに参加



週に1回、循環器科医師、心臓血管外科医師と病棟師長(ハートチーム)が集まり、循環器病の患者さんの治療方針について話し合います。